

曾路名所圖會

一

20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 130 1 2 3 4 5

[illegible]

吾書路に就くはるしとあり
ふれぬたふふはまを所々に
ちれぬまふくかう旅路よ
い主人の店ふよき、僧教の所
もつて世衆人をとつこさ
ちちちちまじし女里難海はる

ふれぬたふふはまを所々に
ちれぬまふくかう旅路よ
い主人の店ふよき、僧教の所
もつて世衆人をとつこさ
ちちちちまじし女里難海はる

たれいふく
此を以て

文記二乙丑三月

文章博士菅原尚長卿

松筠齋主人題

於此
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十

中より秋の玉ねとく歌を
あひいかにしら
よりをあらう
のあはれ
ふ
あ
あ

[illegible]

Handwritten text in a cursive script, consisting of several lines of text.

Handwritten text in a cursive script, consisting of several lines of text.

やまもくやま川小佐野舟橋のあゝちま
岡部の里熊谷乃寺冰川懐至一旅の社保く
戸田川をうへて江戸あたるはるまで一いあうん
あゝく〜道や人もまれり〜やみ
とり上人のきかゝる終ひ〜や其の終の
残るもあゝ義仲あその成巴ゝあれあを
あゝなり今ハ保れる

御代あゝの〜道もい〜あけら〜もた〜
〜き〜れもか〜あゝの時い〜あゝも満る

いゝもくもわ〜海をう〜る〜山賊のみ
あゝ〜人のうゝ海あゝ剛毅お訥れ仁お
あゝ人馬のちゝは〜山川あゝ〜わの〜
外国あゝ〜字あゝ〜日こお目を候〜
り人を候あゝ〜あゝれれ〜
官道セツの上あゝ〜道のつゝ日あゝ山
か〜満喜あゝ海根あゝの〜あゝあゝ
あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ
の海あゝ〜あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

ことなるも一も多かる人々人のふるふ補ひ
 給ひはあまきりぬんとのと

文化えきのふの九月

秋里 離山



木曾序六

凡例

- 一 岐阻路名所圖會と所謂東山道なり今俗小中山道とをいふ京師より起るく江戸に到る都て近江美濃信濃上野武蔵等五箇國乃道條を來る種と古藪街道より六十九駅道法百三拾五里なり名所古跡神社佛圖を圖會といふ駅を各圖をのりて歌一行程を其下に著さん
- 一 京師より某津の駅まで東海道名所圖會よりぬきあふ省畧して其減するは補ふ其より嚮を先編の例とゆゑ記し街道乃神社と延喜式神名帳を載ふと選ぶあるは又大慶よりなりていふあるは所謂御嶽野嶽と渾る方位をふにふの前後につく某の東何里某をいふ何町ふありと證し又神社佛圖乃左右に其神所本

木曾路名所圖會卷之一

目錄

内裏舞御覽御圖

栗田山

追分

用清水

唐崎松

勢国長橋

○草津

檜觀音

三上山

鏡山

日岡嶺

走井

○大津

矢橋渡口

石山寺

大寶社

野洲川

篠原社

鏡宿

洛三條橋

御廟野

蟬丸社

以禮親喜

膳所城

野路玉川

○守山

布晒

平宗盛墳

牛若丸投宿家

白川橋

四宮河原

開寺

三井寺

栗津原

矢倉

守山寺

御上神社

蛙不鳴池

長者碓

その左なり又道條左の方なりとては京師より東國小
赴く旅者の左なり

一 五卷六卷に江戸より東に到る香取鹿島筑波山日光等の
名所とあるに波蘇圖會附録も備ふ

一 日光山と貝原氏系譜記あるに彼地まで古くは墨又日光
名勝志の茶板を抜華一又古来の後派も格不脱漏あるは
後人の補遺を候ふ已

木曾凡例

十蓮坊墳	武佐寺	○武佐	八幡
比年禮社	水莖岡	蒲生野	老獲杜
長命寺	鷗鷯神社	淨巖院	惣見寺
奥石神社	桑實寺	箕他山古城	小松寺
安土山古城	親音正寺	觀音寺古城	地獄越
瓦屋寺	石馬禪寺	地蔵堂	唯念寺
愛知川	○愛知川驛	四十九院	高宮
葛籠細工店	犬上川	○高宮	高宮
多賀大社	鳥籠山	大堀八幡	小町塚
不知哉川	鳥居	磨針嶺	彦根山
鳥居	米原道		

木曾目録

千々松原	磯寄祠	筑摩祠	筑摩野
朝妻里	長濱	將軍穴幡宮	本良社
熊野祠	稻荷祠	竹生嶋	本良社
地蔵堂	護摩堂	余湖	○番馬
什寶數品	琵琶湖	○醒井	地藏堂
蓮華寺	伊吹山	長尾謙信塚	
○柏原			

木曾路名所圖會卷之一目録



